

今月の一句

食欠み干せる

ビール泡の

口笑ふ

星野立子(明治36年
1903生れ)

高浜虚子の次女。

写生に向ける心の柔らかさ
が立子の特徴。

見たまま感じたままの

自然や日常生活を

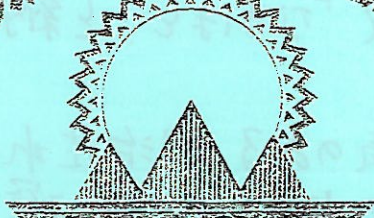
素直に表現する才能は

父虚子にも愛された。

山陽堂だより 12

2010年8月

SANYODO MOTEN



山陽堂書店

葉月(陰暦8月)
(はづき)

今の暦でいうと、
葉月は9月上旬から
10月上旬の秋にあた
るため以下の説がある。

- ・葉の落ちる月葉落ち月
か転じた。
- ・北方から雁が来る月
なので「初来月」「初月」
か転じた。
- ・稲の穂が張る月
「穂張り月」「張り月」
か転じた。

壁新聞はり出しました。

山陽堂店頭に

山陽堂の
お休み

8/13(金)~15(日)

前号で紹介した「青山の兵隊オバサン」
こと江守喜久子さん(1902~1978)の娘さんから
当時の写真を貸していただきました。

洋服なのぞ!

「兵隊オバサン」は スラッとしたとてもおしゃれなモダンカーレ。
兵隊さんへのお茶出しを手伝っているとなり近所の女性たちも
着ものにお白な かつほう着をつけて テキパキとはたらいしている
様子です。小学生らしき こどもたちも やかんを手に
ひと役 買っています。お茶をもらっている兵隊さんの
“笑顔”がとてもやわらかです。そういえばお茶を
ついでいる こどもたちも かつほう着姿の女性も
笑っています。



8月11(日)
はり出し
ます

至根津
美術館

モリモリ

お茶を出していた場所

みずほ銀行

表参道
★山陽堂は
ココです!

至原宿

ところで、兵隊オバサンの たんな様はどのような方
だったのでしょうか・・・。

娘さん曰く、「『り、しんべんに ああ』という字、『情』
この字を大切にしまさい。」とよく言われて育てられた
そうです。私は 晩年のご主人しか知らないのですか、娘さん
のこの言葉をきいて「なるほど」と納得、たしかにそういう
お人柄でした。

オシャレで 勇気のある 明治生れの 兵隊オバサンの
傍らには、懐の大きな 情の深い 明治の男が
いたのでした。

アニマスタジオ 開催中

「風や光の ささやきに耳をすまし、
暮らしの中の小さな発見を大切にひい集め、
日々の ささやかな よろこびを見つける人と
一緒に本を作ってゆくスタジオです。
遠くに住む友人から届いた手紙のように、
何度も手にとって読みかえしたくなる本、
その本があるだけで、
自分の部屋が あたたくく光輝いて見える
ような本を。」

アニマスタジオ
カタログより



お料理



おやつ



フランス

雑貨



赤ちゃん



マタニティ



絵本

山陽堂連絡先

〒107-0061

港区北青山 3-5-22

TEL03-3401-1309

FAX03-3401-1358

e-mail sanvodo@bi.wakwak.com

営業時間

月～金 10時30分～19時30分

土10時30分～16時

休み 日・祝日